

私たちが創造する価値

堺化学グループが最も大切にしているのは、人々の健やかな暮らしを創造することです。この取り組みの結果として、財務的価値と非財務的価値が生まれると考えています。

人々の健やかな暮らしを創造する

財務的価値を創造する

財務目標

(2026年度)

- ROE **8%**
- 営業利益 **90億円**

(2030年)

- ROE **12%**

財務資本

製造資本

「Smart Materialで
社会に貢献できる
エクセレントカンパニー」

- 自然を守る
(地球環境を守る)
- 高度情報化社会の発展を支える
(より平等な社会へ)
- 人々の健康を支える

社会・関係
資本

自然資本

非財務的価値を創造する

- 挑戦し能動的に行動する人材
- 働きやすい環境
- 環境負荷軽減 (CO₂ 排出量削減、産業廃棄物
排出量削減、生物多様性への配慮)
- 社会課題の解決につながる高度な知的資本

知的資本

人的資本

株主還元

- 資本政策・株主還元 (P.19 ~)

さらなる価値創造への再投資

- 事業戦略 (P.25 ~)
- イノベーション戦略 (P.35 ~)
- 人材戦略 (P.43 ~)

人々の健やかな暮らしを創造する

堺化学工業(株)は、1918年に大阪・堺の地で、酸化亜鉛の製造会社として創業しました。当時、女性や演劇役者が使う白粉(おしろい)には鉛が含まれており、長時間の使用による慢性的な鉛中毒が社会問題となっていました。そこで注目されたのは、鉛を含まない白粉を製造するための原料である酸化亜鉛でした。しかし当時、我が国には良質な酸化亜鉛を製造できる会社はありませんでした。そこで創業者 田中銀次郎は、人々が鉛中毒で苦しむことがないように、良質な酸化亜鉛の国産化に取り組みます。銀次郎は多くの困難に直面しながらも製造法の改善を重ね、ついに良質な酸化亜鉛の国産化に成功しました。銀次郎の酸化亜鉛は、お客さまに大変喜ばれ、我が国の鉛中毒問題の解決に貢献しました。

それから100余年、堺化学グループは創業当時と変わらぬ想いで社会やお客さまと向き合ってきました。「化学」を通して人々の健やかな暮らしを創造し、より豊かで幸せな社会へ貢献したい。世の中が移り変わろうとも、堺化学グループの存在目的は決して変わることはありません。

2024年、堺化学グループは新たな中期経営計画「変革・BEYOND2030」をスタートさせました。2050年の人々の暮らしを創造することを目指し、「化学」ができること、つまり「自然を守る(地球環境を守る)」「高度情報化社会の発展を支える(より平等な社会へ)」「人々の健康を支える」という3つの貢献を掲げ、創業以来変わらぬ想いを体現していきます。

財務的価値を創造する

人々の暮らしを創造し続けるためには、企業の持続的な成長が欠かせません。堺化学グループは、社会やお客さまに「ありがとう」と言ってもらえる素材を生み出し、それを迅速に提供することで成長を実現していきます。限られた資本をより効率的に活用し、2026年度には営業利益 90億円、ROE 8%を達成し、2030年にはROE 12%達成を目指します。

非財務的価値を創造する

堺化学グループは、今後もより良い製品・サービスと財務資本を生み出していきますが、もちろんそれだけではありません。堺化学グループの従業員をはじめとするステークホルダーの幸せをたくさん生み出したいと考えています。労働災害の防止、エンゲージメント向上、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進など、人的資本への取り組みに今後ますます力を注ぎます。加えて、取引先や地域社会との「絆」をさらに強くすることを願い、行動していきます。

自然資本も堺化学グループの重大な関心事の一つです。開発品を事業化するにあたっては、「環境・エネルギー問題の解決」や「製造時のエネルギー消費量・廃棄物量の削減」に貢献することも重視しています。

